第10回癌・炎症と抗酸化研究会（CIA 研究会）

Morning Seminar

次世代の抗酸化研究を切り拓く

開催日時 2019年11月9日(土) 10:05～11:05
場　所 ソレイユ大分　7F　カトレア

座　長

慶應義塾大学医学部外科
教授
北川 雄光先生

演　者 ①

「乳癌化学療法における脱毛とアピアランスケア」

国立病院機構　仙台医療センター
乳腺外科　医長
渡辺 隆紀先生

演　者 ②

「新規αリポ酸誘導体による予防薬の開発と臨床応用に向けて」

大分大学医学部
消化器・小児外科学講座
佐川 倫子先生

共 催　第10回癌・炎症と抗酸化研究会／株式会社 アデランス

座 長

慶應義塾大学医学部外科
教授

北川　雄光 先生

略 歴 等

【略歴】
1986年　3月　慶應義塾大学医学部卒業
1986年　4月　慶應義塾大学病院研修医（外科）
1993年　8月　カナダブリテイッシュコロンビア大学留学（1996年7月まで）
1996年　8月　川崎市立川崎病院出向（外科副医長）
1997年　5月　慶應義塾大学助手（医学部外科学）
2005年 11月　慶應義塾大学専任講師（医学部外科学）
2007年　4月　慶應義塾大学教授（医学部外科学）
2009年　4月　慶應義塾大学病院腫瘍センター長
2011年 10月　慶應義塾大学病院副病院長
2017年　8月　慶應義塾大学病院病院長、慶應義塾理事
2018年　4月　国立がん研究センター理事（がん対策担当）兼任

【評議員等】
日本外科学会　次期会頭
（2012年4月～2018年4月まで理事、2014年4月～2016年4月まで副理事長）
日本消化器外科学会　理事長
日本癌治療学会　理事長
日本リンパ学会　常任理事
日本食道学会　理事、食道癌診断・治療ガイドライン作成委員長
日本腹部救急医学会　評議員
日本外科感染症学会　理事
日本胃癌学会　評議員
日本内視鏡外科学会　理事、技術認定審査員（消化器・一般外科）
日本消化器内視鏡学会　監事
日本外科代謝栄養学会　評議員
日本がん転移学会　評議員
日本胸部外科学会　評議員
日本癌学会　評議員
日本消化管学会　理事
国際食道疾患学会　理事（2016年～2018年まで会長）
他.

【学術誌編集委員 等】
Editor in Chief of “Gastric Cancer”（2009年～2019年）
Editorial Board member of “Esophagus”
Japan Clinical Oncology Group (JCOG)
食道がんグループ代表者
日本食道学会食道癌診断・治療ガイドライン検討委員会委員長

MEMO

演 者①

国立病院機構　仙台医療センター
乳腺外科　医長

渡辺　隆紀 先生

▶「乳癌化学療法における脱毛とアピアランスケア」

現在、乳癌患者は急速に増加しており女性10人に1人が乳癌に罹患する時代になった。乳癌罹患年齢の平均は50歳と若く、また薬物療法が効きやすいことが乳癌の大きな特徴である。このため、乳癌患者の多くは、妻、母、そして仕事などで社会的に活発な活動を行っている。乳癌の化学療法による脱毛は、ほぼ100%ウイッグを必要とする脱毛であり、「他人から見える副作用」でもある。脱毛は患者の精神的なQOLを非常に低下させるため、仙台医療センターでは2005年に医療者だけでなく美容専門家も加えた脱毛対策チームを立ち上げて活動してきた。また、2011年には乳癌の脱毛対策に関心を持つ施設が集まり乳癌化療に伴う脱毛患者サポートの WGが作られ活動を開始した。まず行ったのは、全国の乳癌を積極的に治療している病院での脱毛対策の現状調査である。その結果、積極的な患者サポートを行っているのはわずかな施設にとどまることが明らかになった。さらに2013年に患者に対する脱毛の実態調査を行った。その結果、化療中の副作用のなかでは脱毛が最もつらい副作用であり、99.9%の患者が化療によって脱毛したことなどが明らかになった。

当日はウイッグの使用頻度や脱毛の時期や部位、再発毛の毛髪の時期・状況・程度などを解説する予定である。また、近年行われるようになってきた脱毛予防としての頭皮冷却の現状などについても報告する。

略 歴 等

【略歴】
1987年　福島医大卒、第二外科入局
1993年　乳腺グループ
2003年　国立仙台病院（現仙台医療センター）外科赴任
2012年　乳腺外科医長
現在に至る
※2012年から 昭和大学非常勤講師
※2017年から 東北文化学園大学非常勤講師

【専門・研究分野】
細胞診、センチネルリンパ節生検、乳房超音波

【学会等】
日本乳癌学会評議委員、専門医
日本乳癌検診学会評議委員、乳房超音波精度管理委員会委員
乳腺甲状腺超音波診断会議理事、用語診断基準委員会副委員長、教育委員会委員長
日本超音波医学会、超音波専門医制度委員、用語診断基準委員会委員、臨床細胞学会専門医
日本がん治療認定機構教育医
財団法人パブリックヘルスリサーチセンター健康関連アウトカムリサーチ乳癌委員会委員、化療に伴う脱毛に関するWG代表
日本癌治療学会会員

演 者②

大分大学医学部
消化器・小児外科学講座

佐川　倫子 先生

▶「新規αリポ酸誘導体による予防薬の開発と臨床応用に向けて」

我々は新規αリポ酸誘導体のもつ抗炎症作用、抗酸化作用に注目し、炎症性疾患、アレルギー性疾患、癌、抗癌剤副作用の治療法としての可能性を探る研究を行ってきた。抗癌剤副作用の中でも効果的な予防法がなく頻度の高い抗癌剤脱毛に着目し、新規αリポ酸誘導体の脱毛予防効果を動物実験で明らかにし、2013年からは株式会社アデランスと共同研究という形で研究を進めてきた。さらに抗癌剤誘発脱毛に対する新規αリポ酸誘導体の有用性を検証する多施設共同臨床試験を行い、抗癌剤誘発脱毛からの回復促進を示唆する成果を2019年に報告した。そして本成果を臨床現場へ還元すべく、新規αリポ酸誘導体を含有したスカルプローションの製品化・販売を実現した。

今回は動物実験から臨床試験に至るまでの道のりを振り返り報告する。

略 歴 等

【略歴】

2006年	北海道大学医学部卒業
2006年	JA帯広厚生病院初期臨床研修医
2008年	医療法人鉄蕉会亀田総合病院　乳腺科
2016年4月	大分大学大学院入学
2016年6月	社会医療法人敬愛会中頭病院乳腺外科
2017年4月	大分大学医学部消化器・小児外科学講座　入局 現在に至る

MEMO